

講演とまち歩きにより、八木の町並みの魅力を伝えます。



表紙写真：札の辻

悠久の古道(横大路)と 旅情溢れる八木「札の辻」を巡る



【講師紹介】馬場 基 (ばば はじめ)

奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員。

1972 年、東京都に生まれる。1995 年、東京大学文学部卒業。2000 年、東京大学大学院博士課程中退。現職に至る。専門は日本古代史、木簡学、交通史。幅広い知識に裏付けられたわかりやすい内容と軽妙なトークが好評。主な著書『平城京に暮らす』吉川弘文館

日時 平成25年 **2月24日** 日 13:30 ~ 16:00 (小雨決行)

場所 講演：かしはらナビプラザ (近鉄大和八木駅南口すぐ) 5階 市民活動交流広場
まち歩き：八木「札の辻」周辺

参加費 無 料

申込方法 ハガキ・ファックスのいずれかに、必要事項をご記入のうえお申し込み下さい。
先着順となります。なお、1枚のハガキ、ファックスで2名まで参加申込できます。

【必要事項】

「日本文化のクロスロード」まち歩き と明記のうえ、
申込希望者(代表者)の郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号
他 2名で申込の場合は、同伴者の氏名・年齢 もご記入ください。

【送付先】

▶ ハガキ (宛先) 〒630-8501 奈良市登大路町 30 奈良県土木部道路建設課
「日本文化のクロスロード」係

▶ ファックス 0742-26-1360

応募締切：2月15日(金)(当日消印有効) *申込定員に達した場合はその時点で締切となります。

定 員
50
名 様



主 催 / 風景街道「横大路・下ツ道」連絡協議会・奈良県

お問い合わせ

奈良県土木部道路建設課広域計画係 TEL 0742-27-7495 FAX 0742-26-1360



当日のスケジュールとルート

- 13:00** 受付 (かしはらナビプラザ 5 階)
- 13:30** 講演: 奈良文化財研究所
馬場 基
- 14:30** まち歩き
札の辻を中心とした八木まち周辺を
地元ガイドと一緒に歩きます。
- 16:00** 札の辻 解散



登録文化財・河合家住宅



登録文化財・山形高等学校

日本風景街道とは…

日本風景街道は、景観・歴史・文化・自然・建築などの地域の魅力を再発見し、それらを「道」でつなぎながら、官民共同によって“美しい国土景観づくり”や“観光の振興”、“地域の活性化”に寄与することを目的としています。このための活動主体として、地域住民やNPO、地域自治体など地域と行政とで「風景街道パートナーシップ」を構成しています。

日本風景街道「日本文化のクロスロード (横大路・下ツ道)」

横原市八木の町は古代からの幹線道路である「横大路」と「下ツ道」の交差点を中心に発展し、中世には町を形成していたと云われています。近世になって高札の架かる場所となり「札の辻」と呼ばれ、商業の中心となりました。

横大路は「札の辻」を通る東西の道で、日本書紀にもあるように大阪の難波津から竹内峠を越え、飛鳥・藤原京につながる官道で、当時30～40m程度の幅の、いわば現代の国道1号線ともいえる古道です。その後も大阪から伊勢へ向かう街道のひとつとして賑わいました。

下ツ道は大和盆地の中央を南北に貫く三本の古道のひとつで、東側から上ツ道、中ツ道がありました。下ツ道の北端は後の平城京の朱雀大路で、大和盆地の区画の基本となった条里制はこの道を基準につくられました。また、この道を南に行けば高取を経由し、さらにその先吉野や紀伊の国(和歌山)へ向かうこともできる主要幹線でした。現在も、その痕跡がはっきり残っていて、近年復元された平城京の朱雀門からまっすぐこの「札の辻」を経て、高取に至る道を地図で見ることができます。

また、「札の辻」周辺は、今も江戸時代からの歴史的な町並みが生活の場として生き続けていると共に、太神宮灯籠や井戸、旅籠の建物などの旧街道の面影をとどめる環境も残されています。

★風景街道「横大路・下ツ道」連絡協議会★

NPO 八木まちづくりネットワーク・NPO 大和八木まち創り会・歴史街道推進協議会
国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所・奈良県・横原市

風景街道「横大路・下ツ道」連絡協議会事務局 / 奈良県土木部道路建設課 TEL 0742-27-7495